

# 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 使用上の注意改訂のお知らせ

閉塞性気道疾患用剤

ツロブテロール塩酸塩錠・ドライシロップ

**ベラチン<sup>®</sup>錠 1mg**

**ベラチン<sup>®</sup>ドライシロップ 小児用 0.1%**

**BERACHIN<sup>®</sup> tablets 1mg, dry syrup for children 0.1%**

2020年5月

ニプロESファーマ株式会社

このたび、標記製品につきまして、【使用上の注意】を改訂しましたのでお知らせ致します。

今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い致します。

なお、医療用医薬品添付文書の記載要領改正(新記載要領)に基づく様式変更も同時に実施致しました。

## 記

### ■改訂内容

改訂後（新記載要領）（下線 部：改訂箇所）	改訂前（旧記載）（下線 部：削除箇所）
<b>8. 重要な基本的注意</b> <b>〈効能共通〉</b> <b>8.1</b> 用法・用量通り正しく使用しても効果が認められない場合は、本剤が適当でないと考えられるので、投与を中止すること。なお、小児に使用する場合には、使用法を正しく指導し、経過の観察を十分に行うこと。 <b>8.2</b> 過度に使用を続けた場合、不整脈、場合によっては心停止を起こすおそれがあるので、使用が過度にならないように注意すること。 <b>〈気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫〉</b> <b>8.3</b> 気管支喘息、慢性気管支炎又は肺気腫治療の長期管理において、本剤の投与期間中に発現する急性発作に対しては、短時間作動型吸入 $\beta_2$ 刺激薬等の他の適切な薬剤を使用するよう患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に注意を与えること。また、その薬剤の使用量が増加したり、効果が十分でなくなってきた場合には、疾患の管理が十分でないことが考えられるので、可及的速やかに医療機関を受診し治療を受けるよう患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に注意を与えること。	<b>2. 重要な基本的注意</b> (1) 気管支喘息治療における長期管理の基本は、吸入ステロイド剤等の抗炎症剤の使用であり、吸入ステロイド剤等により症状の改善が得られない場合、あるいは患者の重症度から吸入ステロイド剤等との併用による治療が適切と判断された場合にのみ、本剤と吸入ステロイド剤等を併用して使用すること。 本剤は吸入ステロイド剤等の抗炎症剤の代替薬ではないため、患者が本剤の使用により症状改善を感じた場合であっても、医師の指示なく吸入ステロイド剤等を減量又は中止し、本剤を単独で用いることのないよう、患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に注意を与えること。 (2) 気管支喘息治療の長期管理において、本剤の投与期間中に発現する急性の発作に対しては、短時間作動型吸入 $\beta_2$ 刺激薬等の他の適切な薬剤を使用するよう患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に注意を与えること。 また、その薬剤の使用量が増加したり、効果が十分でなくなってきた場合には、喘息の管理が十分

改訂後（新記載要領）（下線 部：改訂箇所）	改訂前（旧記載）（下線 部：削除箇所）
<p>〈気管支喘息〉</p> <p>8.4 本剤は吸入ステロイド剤等の抗炎症剤の代替薬ではないため、患者が本剤の使用により症状改善を感じた場合であっても、医師の指示なく吸入ステロイド剤等を減量又は中止し、本剤を単独で用いることのないよう、患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に注意を与えること。</p> <p>8.5 <u>短時間作動型<math>\beta_2</math>刺激薬等、急性発作を緩和するための薬剤の使用量が増加したり、効果が十分でなくなってきた場合には、生命を脅かす可能性がある</u>ので、吸入ステロイド剤等の増量等の抗炎症療法の強化を行うこと。</p>	<p>でないことが考えられるので、可及的速やかに医療機関を受診し治療を受けるよう患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に注意を与えると共に、<u>そのような状態がみられた場合には、生命を脅かす可能性がある</u>ので、吸入ステロイド剤等の増量等の抗炎症療法の強化を行うこと。</p> <p>(3) 用法・用量通り正しく使用しても効果が認められない場合は、本剤が適当でないと考えられるので、投与を中止すること。なお、小児に使用する場合には、使用法を正しく指導し、経過の観察を十分に行うこと。</p> <p>(4) 過度に使用を続けた場合、不整脈、場合によっては<b>心停止</b>を起こすおそれがあるので、使用が過度にならないように注意すること。</p>

## ■ 改訂理由

重要な基本的注意について、気管支喘息だけでなく慢性気管支炎及び肺気腫を含む注意喚起としました。

＜参考＞

COPD（慢性閉塞性肺疾患）診断と治療のためのガイドライン第5版2018

（編集：日本呼吸器学会 COPD ガイドライン第5版作成委員会）

以上

- ・ ここでお知らせした内容は、ニプロESファーマ株式会社ホームページ (<https://www.nipro-es-pharma.co.jp>)「医療機関向け情報」でもご覧いただけます。
- ・ 「使用上の注意」改訂の内容は、医薬品安全対策情報(DSU) No. 289 (2020年6月発行予定)に掲載されます。また医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) にも掲載されます。

お問い合わせ先  
ニプロ株式会社  
医薬品情報室  
専用ダイヤル 0120-226-898

製造販売

**ニプロESファーマ株式会社**

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

ES20-001

2020年5月